

令和元年のメキシコ合衆国における NPO 活動状況

1 活動期間

令和元年 8 月 20 日から同年 9 月 7 日まで

2 主な活動地域

ゲレロ州アカプルコ市、クエルナバカ市、メキシコシティ

3 活動内容

- (1) 8 月 23 日自転車でゲレロ州内の主要市を巡り交通安全を訴えて続けている自転車ツーリングクラブのアカプルコ市訪問を機に開催された交通安全決起集会に参加。参加グループは、Acabici A.C.、Guesevi A.C.、Ruta chichimeca、Ciclistas Urbanos の 4 グループ約 70 人がゲレロ州のアカプルコ市、チルパンシngo市、タスコ市、イグアラ市を自転車でツーリングしながら訪問し市警察や市民と連携し毎年交通安全決起集会を開催している。



続々と集まるメンバーたち。 Papagayo 公園西入口付近に集まったメンバー達と市職員たち
第一会場は papagayo 公園西入口と第二会場はスーパーマーケット Aurela 前の海岸で決起集会が開催。小生は papagayo 公園に参加

- (2) 若者たちと交通安全活動

8 月 26 日午前 10 時にアカプルコ市のソカロに集合。ソカロ近くのサンボーンズ店前交差点で歩行者の安全な渡り方などをデモ。参加者約 30 人。



止まれ(ALTO)の標識等、交通標語を記した横断幕を示し横断歩道でデモンストレーション。

(3) 8月29日午前中、幼稚園にて交通安全教室に参加。

参加園児約150名、保護者役30名、市役所幹部・市警察関係者約10名。ここの講習は、一般道路に見立てた運動場で行なわれ園児それぞれに歩行者役、運転者役、警察官役、医者・看護婦役等を決めて行なわれた。



運動場を三角ポールで道路を作り横断歩道や信号機を模したものを設置。三輪車を自動車に見立てそれぞれ園児に走行させ一般交通の模擬体験をさせている。



園児の役割分担



警察官(黒服の女性)の説明。



自転車が一齐に走り出して横断歩道で事故が発生。すると救急車で医師と看護婦、パトカーが来て被害者を救護。ここでなぜ事故が起きたか警察官が質問する。子供たちから色々な意見が飛び交う。

最後に安全教育係の警察官が「皆さんが被害者や加害者にならない為には、何を事を守ればよいでしょうか。」と質問。保母さんが「交通ルールを守ること。」と言うと園児は声を上げて一齐に唱和していた。



交通安全局長(女性)から Diploma を頂いた。園長にアカプルコ版の歩行者マニュアルを提示(写真左から筆者、園長、交通安全担当官、交渉官、局長)



市警察交通安全教育担当係



警察及びアカプルコ市の幹部と一緒にひな壇に着席



それぞれの役を演じた園児、関係者の皆さん

(4) 運転免許取得前講習

8月29日午後から運転免許取得試験がありそれに参加。毎週火曜日と木曜日に行われ、当日は約30人が受験した。外国人はビザがないと受験できないので私は講習だけ。

この講習終了後にテストが行われ規定の点数に達しない人は再度受講・受験しなければならない制度となっています。



免許取得に並ぶ受験生

受講風景

4 カプルコ市の治安情勢



友人の警察職員の車にどこからか飛んできた銃弾の痕跡が助手席のドアあった。



武装警察官による 24 時間警戒が少しづつではあるが治安の好転に繋がっている。

連日猛暑（40 度超）の中、黒装束の下に防弾チョッキ、ヘルメットにマスク姿、軽機関銃に拳銃、無線機を携帯しての治安維持活動に携わる警察官は大変な重労働に加え何時どこから狙われるかもしれないという恐怖感に打ち勝ち黙々と従事する姿を見ると警察が治安維持に並々ならぬ努力をしていることが伺える。新聞には殺人事件の記事が載らない日がないくらいですが、彼らの努力が実る日は近いような気がしました。

治安維持については武装警察官、連邦警察、海軍、陸軍が共同して当たっているのは、汚職の温床であった市警察は解体されて現在残っているのは当時の管理部門、安全教育部門、運転免許部門、犯罪被害者救済部門、観光警察だけとなり、他の治安機関、軍隊の協力を得ざるを得なかったからです。

麻薬組織のメンバーや犯罪者等は一般大衆に紛れて活動するので警戒一層困難を帰している。

クエルバカのセルヒオ氏に会うためアカプルコから高速バスで 4 時間。40 度の世界から 25 度の世界へ。クエルナバカの治安はここ 2 乃至 3 年で急激に悪化し午後 8 時頃には商店は早々とシャッターを下ろし始める。ホテルに夕食がないため出かけようとしたところ午後 7 時に入りを占めるのでそれまでに帰るよう言われた。遅れた場合は正面入り口のベルを鳴らすように。原因は麻薬組織が売上金の強奪や金品目的

で観光客を襲うことが多く観光客が夜遅くまで出歩かなくなったことで店を早く閉めるそうである。

5 海上自衛隊の練習艦隊のアカプルコ寄港について、

懸案の海上自衛隊練習艦隊のアカプルコ寄港の際に Altamirano 小学校生徒の訪船について大使館に照会した結果を Altamirano 小学校にその旨伝えた。

一日も早く治安が改善しアカプルコ寄港を心待ちにしている小学校の希望が叶えられることを願うばかりです。